

食味・品質の向上をめざすには、土づくりが重要！

～土づくりの効果～

- ・異常気象条件(冷害、干ばつ、高温年等)においても抵抗性が高まります。
- ・保水性や生育後期の窒素供給力が増し、登熟向上による良食味・高品質の生産につながります。

土づくりは、稲わらすき込みから！

稲わらは土壌微生物によって分解され、『地力窒素』となります。稲わらを分解する土壌微生物は地温が15℃以上で活発に働くため、収穫後地温が高いうちにできるだけ早くすき込んだ方が効果が高まります。

稲わらすき込みの深耕は、5～10cmの浅うち！

すき込みの耕深作業能率や腐熟促進等を考慮して、5～10cmの浅うちとします。

稲わらすき込みは10月中旬までに完了！

すき込みは、稲わらの腐熟の促進やメタンガスの発生抑制を図るため、10月中旬までに完了させます。

籾がらも土づくりに効果があります！

籾がらの分解はゆっくり進みますので、短期的には生育・収量への影響は少ないですが、長期的には土壌の物理性を改善するなど、土づくり効果があります。

JAおすすめ 土づくり資材

魚沼ロマンアイアンスター



標準施用量
40～60kg/10a

★『鉄』『腐植酸』を含む
総合的な土づくり肥料

魚沼ロマンソイルキーパー



標準施用量
60kg/10a

★魚沼地域専用の
低コスト土づくり肥料
『けい酸』を中心に各種
成分をバランスよく含む

オリジナル水田スケール発売中!!!



JA北魚沼では、【生育に応じた栽培】【気象変動に負けない稲づくり】を推進するため、北魚沼オリジナル水田スケールを作成しました。お申し込みは各営農センターまでお願いいたします。

価格

3,980円(税込み)

数量限定!!!